

地盤工学会関西支部 第11回若手セミナー 『私と地盤とのかかわり』

[開催報告]

公益社団法人 地盤工学会 開催支部 行事・広報グループ

1. はじめに

地盤工学会関西支部では、次世代を担う若手の活性化、交流を目的として毎年若手セミナーを開催しております。第11回若手セミナーでは CVV(Civil Veterans Volunteers)でご活躍されているベテラン技術者3名を講師としてお招きし、『私と地盤とのかかわり』を共通テーマとして“発注者”・“設計者”・“施工者”のそれぞれの立場における経験談についてご講演いただきました。その後、意見交換会として若手からの質問に対し、講師の方々に答えていただく時間を設けました。

なお、今回は新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえオンラインでの講習会を試行的に開催しました。

2. 若手セミナーの概要および状況

日時：令和3年1月14日(金) 14:30～16:50

場所：オンライン(Zoom ミーティング)

ドーンセンター 大会議室1 (講習実施場所)

参加者：17名

講演内容：

① 「[発注者から見た設計・施工の留意点](#)」

講師：先本 勉 氏 (元 国土交通省 現 一般社団法人 近畿建設協会)

② 「[湾岸埋立地での地盤特性を考慮した橋梁計画事例](#)」

講師：武 伸明 氏 (元 株式会社建設企画コンサルタント)

③ 「[長大山岳トンネルにおける地質・地盤変化に対するリスク管理の重要性について](#)」

講師：須賀 敦 氏 (元 鹿島建設株式会社 現 一般財団法人 阪神高速先進技術研究所)

3. おわりに

今回の若手セミナーではお忙しい中多数参加申し込み頂き、誠にありがとうございました。また、今回はオンラインでの開催となりましたが、大きなトラブルもなく無事、実施することができました。今後も若手の交流の場として引き続きご参加いただけたら幸いです。

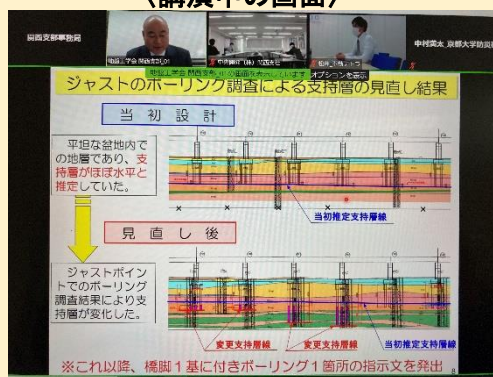
最後に講師の方々におきましても、ご多忙の中引き受けていただき、誠にありがとうございました。

開催状況

〈ドーンセンター様子〉

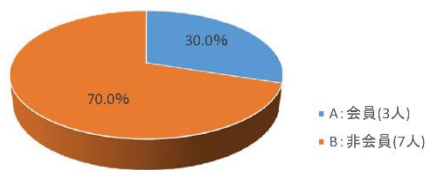


〈講演中の画面〉

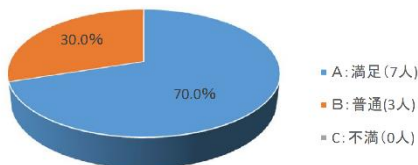
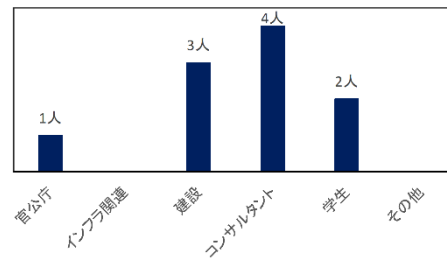


◆第11回若手セミナー『私と地盤とのかかわり』（アンケート回答数：10名）

Q1. 会員・非会員について(回答数10人)

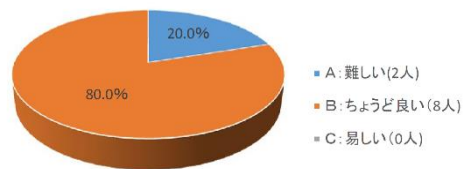


Q2. 参加者の所属について(回答数10人)

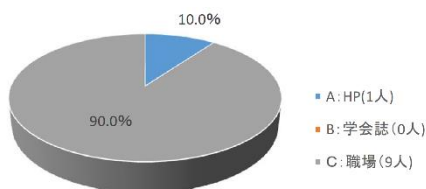


Q3. 若手
セミナー
の満足度
について

(回答数 10



人) Q4. 若手セミナーの内容について(回答数10人)



Q5. 若手セミナーの企画をどこで知ったか(回答数10人)

Q6. 若手セミナーで取り上げて欲しい内容

- ・作業効率を上げる最新技術について。
- ・受注者側から見た施工・設計について。
- ・今後増えていくであろうリニューアル技術について。
- ・更新工事における地盤工学的観点の施工の問題点について。

Q7. 地盤工学会関西支部で開催して欲しい企画

- ・若手向けのイベントをこれからも開催して欲しい。
- ・コロナ渦で厳しいとは思いますが、多種多様な現場を見られるよう、現場見学会を開催して欲しい。

Q8. 若手セミナー全体を通じての感想や意見

- ・山岳トンネルについての詳細な説明を受け、知識が広がり、興味を持つことができました。
- ・丁寧な説明をしてくださっていたので、難なく理解することができました。
- ・現在はコロナ渦なので仕方ありませんが、意見交換の時間が充実した会があればと思います。
- ・Web開催だったので、考えていたよりで参加し易いものとなっていて良かったです。
- ・自分が感じているよりも難しい内容ではなかったと思うのですが、私が勉強不足というのもある

り、所々で分からない内容がありました。考えている間やメモする前に次の話に行ってしまう確認できないところがいくつかありました。セミナー前にPTを配布していただけると非常に助かると感じました。次回は、さらに勉強して参加し有意義な時間にできればと思います。

- 講師同士のフリーディスカッションもあれば、より良い企画になったと思います。
- Zoomでの講習でも大きな問題なく円滑に受講できたことは非常に有難かったです。
- 施工に関する問題点等、わかりやすい講義内容ではあったが、講義資料が欲しかったです。